



かたらして

アーチ通信 第17号

令和元年9月発行

「かたらして」は三島の方言で「なかまにいてて」という意味です。



三島市障がいと暮らしを支える協議会は、市内関係団体・当事者・事業者の顔の見える“つながり”作りを大切に、愛称：アーチのとおり、架け橋になることが目標です！！

いいものみつけた！！（皆さんのこえ）

★相談支援事業所以外にも相談できる相談会があります！★～その2～

トークンタイム（発達障害・自閉症の相談会）

＜静岡県自閉症協会三島支部主催＞

いつ：ほぼ毎月第3水曜日の10時～12時まで（8月・3月はありません）
どこで：三島市民活動センター（本町タワー）4階（三島市本町3-29）
内容：三島市から委託を受けた知的障がい者相談員が、お話を聞きします。（ピアカウンセリング）。

- 子供が発達障がいだと思うが、どうしたらよいか、わからない。
- 診断されているが、就学は、どこを選んだらよいか？
- 自閉症と診断されたが、対応方法は？
（トイレ・自傷、他害・着替え・偏食・こだわり・感覚過敏）

●LDについて 学習法

●ADHD 衝動・多動の対応法

など、お子様の発達の遅れや、家や学校での悩み・就学、就労の不安などを、同じような経験を乗り越えていらした方々と一緒に、考えていきませんか？
障がい種別に関わらず、どなたでも参加できます。事前申し込みは不要です。



「スペシャルオリンピックス日本・静岡」三島地区ボウリング



スペシャルオリンピックスとは、知的がいのある人たち（アスリートと呼んでいます）に日常的なスポーツトレーニングと、その成果の発表の場である協議会を、年間を通して提供し社会参加を応援する国際的なスポーツ団体です。アスリートとファミリーがボランティアや支援の方々に支えられ、日々のスポーツ活動を楽しんでいます。

スペシャルオリンピックスの競技は夏冬合わせて26種類あり約170万人のアスリートと50万人のボランティアが150を超える国と地域で活動しています。



三島地区では、スペシャルオリンピックス・ボウリング認定コーチの小林陽子さんを中心に活動しています。8年前に2人のアスリートから始めました。現在、アスリート15名、認定コーチが9名で活動しています。常時6～7名のアスリートが参加しています。アスリート4名に対してコーチ1名で支援します。

小林陽子さんの指導は、具体的で分かりやすく、アスリートたちの意欲を高めています。一人ひとりをよく見て、タイミングよく褒めたり励ましてくれます。いつも笑顔を絶やさず、アスリートや保護者は、いろいろ相談しています。

アスリート：「練習も大会も、パーティも楽しみ。」「だんだん、うまくなった。」「友達とがんばれる。」

ファミリー：親も一緒に楽しめる。子どもが頑張っている姿を見るのはうれしい。和やかな雰囲気。



スペシャルオリンピックスの効果

- ・アスリートの健康/体力増進
- ・スポーツ技術の向上/競技経験
- ・自立への意識と自信
- ・地域社会との交流
- ・包みこむ社会

スペシャルオリンピックスに参加しませんか？

アスリート（スポーツが苦手でも大丈夫！）
ファミリー・コーチ・ボランティア・協力者（企業・個人・団体）

ボウリング三島会場金曜クラス 会場 ジョイランドボウルみしま
日程 金曜日 18:30～20:30

日程が変更になる場合がありますので、事前にご連絡ください。

参加申し込み・問い合わせ 電話 090-4440-5884

サポーター紹介！



<プロフィール>

法 人： 社会福祉法人見晴学園
事業所： 相談支援事業所ふあいん
氏 名： 柳沢 亜樹子（やなぎさわ あきこ）

趣 味： 息子のスポーツ観戦&追っかけ
（遠征先に付いていき、親たちだけでご当地グルメを堪能）
悩 み： 息子の部活引退後に私が抜け殻になってしまいそうなこと
ほうれい線が深くなっていくこと…笑
今の目標： 老後の楽しみを見つけること



はらはらどきどき…でも楽しい！



群馬：
ソウルフード
味噌パン
美味です good



岐阜：
試合中に
航空ショー・・・

松坂：牛はやっぱり美味しいね



松本：ソウルフード牛乳パン
ボリューム満点



運営会議のほうこく！

日時：令和元年 7 月 22 日（月）15：30～17：00 場所：三島市役所 西館会議室

基幹相談支援センターからの提案・課題

新たなプロジェクト「放課後等デイサービスと学校の連携」「地域生活支援拠点事業」の立ち上げについて提案があり、今後、検討することになりました。

プロジェクトチームの進捗状況について

①相談＆サビ管の連携プロジェクト

「第 2 回相談支援専門員＆サービス管理責任者等連携プロジェクト」の開催を終えました。

【研修の振り返り】

（参加者の感想）・グループワークを通じて新たな課題が抽出された。・参加することで「気づき」が生まれた。・集まる場があることに意義を見いだせた。・今後も続けられると良い。・「チェックシート」「事業所紹介動画」等、成果物が得られた。

（今後について）・成果物（個人情報・配信方法・動画・ホームページ）をどのように取り扱っていくかを検討したい。・PTの期間終了に伴う区切りについて検討が必要。・集まる場として、来年以降もこのような場があると良い。・参加出来なかった方への情報提供を進めていきたい。

②人材育成プロジェクト

講師リストの取説やパッケージングされた研修プログラムの作成中。小規模事業所では計画しづらかった研修「（例）初任者研修等」の企画を考えています。



ネットワークミーティング(全体会)の企画について

開催企画案の確認を行い、開催時間を 12：30 集合、13：00 開場、13：15 開会、15：30 終了に変更し、グループワークの時間を 90 分に拡大することにしました。また、案内文の内容をより詳しく表現することにしました。グループワークの内容等は各委員で案を作り、持ち寄ることになりました。

その他

- ・社会福祉協議会から「市民後見人養成研修説明会」「市民のための成年後見制度」の案内をいただきました。
- ・三島市手をつなぐ育成会から「星に語りて」上映会の案内をいただきました。





おしえて Q & A

「連携会議」について(基幹相談支援センター)

★「連携会議」とは・・・★

基幹相談支援センターの取組の一つとして、相談支援専門員（相談員）のスキルアップや連携強化を目的に、毎週水曜日、朝の1時間、定例で集まっています。相談員同士がアドバイスをし合ったり、情報交換する場として活用されています。週替わりで以下の取り組みをしています。

- ◆事例検討ミーティング：対応に行き詰りを感じていたり、支援策やアドバイスが欲しいことについてみんなで知恵を出し合う場です。
- ◆情報連携ミーティング：最近の活動状況や、新しい事業所情報の交換、情報募集など、支援に役立つお得な情報の共有をしています。
- ◆勉強会：相談支援事業所が自ら企画運営し、様々なテーマについて学ぶ場です。自分たちで講師をしたり、招いたり工夫しています。

★今年度の勉強会テーマ★

精神科病院からの地域移行支援の取組について
グループホームとふれあい教室の紹介
車いすで市役所を点検してみよう
就学前の相談支援体制を知り、相談支援事業所としてどのような関りができるのかを考える
静岡DCAT(災害派遣福祉チーム)の活動紹介、放課後等デイサービスの紹介
重症心身障害、発達障害について
放課後等デイサービスの一日
てんかん発作について
児童虐待対応及び障害者虐待の差異



○毎週知った顔に会えてほっとします。
○一緒に考えることができる機会があり心強く思います。
○他の事業所との共有は、勇気がわきます。

○自分だけでは浮かばない支援方法や情報、考え方に触れることや、様々な立場で意見交換ができスキルアップの場になってます。



*より詳しい情報はホームページに掲載しましたのでご覧ください。

三島市障がいとくらしを支える協議会ホームページ

http://kir250520.kir.jp/netcommns/htdocs/?page_id=35

事務局連絡先：(福)見晴学園 相談支援事業所ふあいん

055-976-8386

sole-fine@shirt.ocn.ne.jp